

2015年3月17日

維新の党 幹事長 松野頼久 殿

朝日放送株式会社

広報部長 井上隆史

御党から当社に10日に送達されました3月7日付の書面と11日に送達されました10日付の書面につきまして、一括してお答えします。

当社は、政治的に公平であること、意見が対立している問題についてはできるだけ多くの角度から論点を明らかにすること、などという放送法の趣旨を踏まえ、自らの編集責任において、自主・自律のもとで放送番組を編集しております。また、法が規定している「政治的に公平であること」などは、選挙直前か否か、選挙運動期間中か否かにかかわらず、常に配慮すべきものだと理解しております。

当社が毎土曜日に放送している「教えて!NEWSライブ 正義のミカタ」では、それぞれの専門分野を中心に幅広い知識や経験を活かして様々な疑問に答えていただくことを念頭に、専門家の方々に出演を依頼しております。藤井聡氏につきましても防災や公共事業などの分野を中心に幅広く解説していただくとうと出演を依頼しているもので、特に「大阪都構想」に焦点を当てて語っていただくことが目的ではありません。

ただし意見が対立している場合は、多様な意見を視聴者に届けることができるよう、配慮が必要なことから、今月7日に「大阪都構想」をテーマの一つに選んだ際は、都構想に賛成の立場の識者の方も呼びつけてなぜ都構想が必要なのかをお話していただき、続いて反対の立場で藤井氏が問題提起しました。今後も「大阪都構想」を取り上げる際は公平に配慮していく方針です。

当社は、放送法や当社の番組基準等に則り、あくまで番組内での出演者の発言やVTR等の取り扱いに配慮した番組を制作することが責務と考えております。

政治家や出馬を表明した立候補予定者の番組出演に関しては、当社で内規を定め、適切に運用しております。しかし、政治家や立候補予定者ではない番組出演者の番組外での活動に関して、当社が一方的に活動を制約することは、番組出演者の思想・信条の自由及び表現の自由を侵害することにつながりかねません。このため、当社の番組に出演していただいている識者が自らの研究成果を様々な場で表明される自由は尊重すべきものと考えております。ただし、選挙運動期間中に特定の候補者や政党への投票呼びかけ等の応援をすること等については、適宜適切な判断をしております。

当社は放送法に基づき、自らの責任で番組を編集し自主自律で対応しております。個別的にはその都度適切に判断しており、その結果は、番組として視聴者のみなさまにお示ししているのがすべてです。放送までの過程における議論や判断をコメントすることはできませんのでご了承ください。